

平成20年7月
国土交通省航空局

横田空域の一部削減に伴う羽田空港出発経路の短縮による効果の試算について

時間短縮効果		約7,200時間
燃料削減効果		約3千3百万リットル(注1)
経済効果	コスト削減効果 (燃料費削減効果)	約52億円 (約28億円)(注2)
	(運航費用削減効果)	(約24億円)
	時間短縮による 旅客便益増加効果	約46億円
合計		約98億円
環境改善効果		約8万1千tCO2(注3)

(※年間推定)

注1) 年間国内線燃料総使用量(平成18年度)の約0.74%に相当する。

注2) 米国エネルギー庁公表(シンガポールケロシンの市場価格)の2008年1月~5月の間の平均価格128.1ドル/バレルに基づき計算。

注3) 一般家庭における一世帯あたりの年間CO2排出量の約15,000世帯分に相当する。

※1世帯あたりCO2排出量は年間約5.3トン
(平成18年度データ:(独)国立環境研究所・「温室効果ガスインベントリオフィス」による算出。)